



硯修會

全編一巻



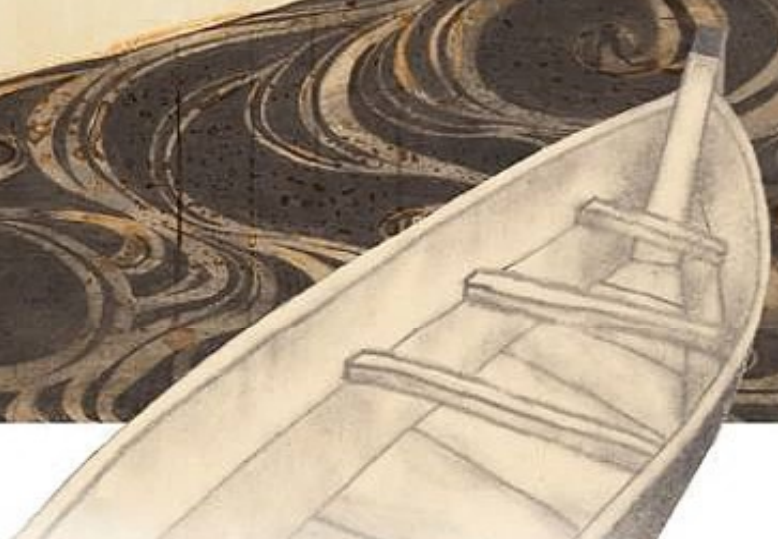
硯修會

第三回公演

一調一管
龍田

狂言
繩絢

能
隅田川



硯修會

第二回公演

午後二時二十分開場
午後三時開演

一調一管 龍田

謡 塩津 哲生
笛 竹市 学
太鼓 三島元太郎

狂言 縄綯

シテ 太郎冠者 山本泰太郎
アド 主人 山本凜太郎
アド 何某 山本東次郎

休憩 二十分

第三回公演を開催させて頂きます。
能一番を三人で、という思いで臨んだ第一回の能「野宮」。

各々が初挑戦の大曲に挑んだ第二回の狂言「射狸」と能「熊野」膝行三段之舞。
今回は一調一管「龍田」、狂言「縄綯」、そして能「隅田川」とさらに個々に焦点を当てた演目にてご覧頂きます。

この度の開催にあたっては、世の情勢を考えまして躊躇いたすところも多々ございましたが、この硯修會という会名に込めました「虚」心担懐に我が身を修め舞台に臨む」という所信を改めて思い起こし、開催を決意いたしました。

各々がこれまで舞台に取り組んできた姿勢と積み重ねてきた力、そして、さらに少しでも先へ進もうという意思。世の状況がどうあるうと変わる事のない、ひたむきに舞台に臨む姿を皆様にご覧頂けますよう懸命に勤めたいと存じております。

今回も前回と同様、我々の姿を長く見守って下さった先生方や諸先輩方にご出演賜りますことを心から感謝いたし、自ら名付けた「硯修」の名に恥じぬよう心して勤める所存しております。

何卒ご高覧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

虚心担懐に硯に向かい、墨を摺ら如く

2021年5月8日(土)午後2時20分開場 / 午後3時開演

3月15日(月)10時~予約受付開始

チケットのお求めは...

■ 硯修會ホームページ

<http://kenshu-kai.com/ticket/>

■ 硯修會事務局

Tel 070-3883-3920

Fax 03-6479-2626

shimohou.obinata@gmail.com

①お名前 ②ご住所 ③お電話 ④FAX番号
⑤ご希望の席種と枚数をご明記の上、ご返信下さい。

■ 宝生能楽堂事務局

窓口販売のみ

(午前10時~午後5時 / 月曜定休)

■ S席 8,000円

■ A席 7,000円

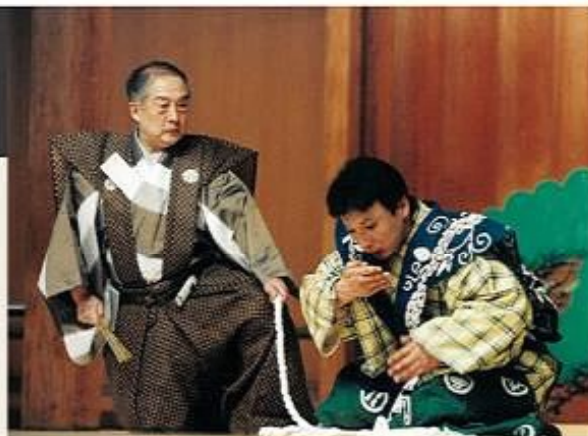
■ B席 6,000円

■ C席 5,000円

全席指定

● 学生(30歳以下)全席種2,000円割引

※ チケットは当日受付にて学生証をご提示頂き
代金をお支払いの上お受取りとなります



終演予定
午後五時五十分頃

シテ 梅若丸の母 狩野 了一
子方 梅若丸の霊 大村 稔生
ワキ 渡守 大日方 寛
ワキツレ 旅商人 野口 能弘
笛 竹市 学
親世新九郎
國川 純
塩津 哲生
中村 邦生
香川 靖嗣
大村 定
長島 茂
金子 敬一郎
内田 成信
佐々木多門
大島 輝久
佐藤 陽

能

隅田川



大日方 寛
脇方下掛宝生流

一九六八年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
故宝生閣及び宝生欲哉に師事
大学を中退、宝生閣の下で
修行すべく研修生となる
平成十七年「道成寺」
平成十七年「小鍛冶」大臣にて初舞台
平成二十年「張良」
令和元年「猿蓑」披露



山本泰太郎
狂言方 大蔵流

一九七一年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
父故山本則直及び山本東次郎に師事
昭和五十一年「初猿」にて初舞台
昭和六十三年「千歳」を披露
以来国立の研修に加わりながら修行を重ね
平成三年「三番三」
平成四年「活那須」
平成六年「獅子舞」
平成八年「釣旗」
平成十七年「花子」などを披露



竹市 学
笛方 藤田流

一九七二年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
故藤田六郎兵衛に師事
昭和六十三年「経夜」にて初能
平成七年「狸々丸」「石橋」を披露
以来、平成八年「箱」
平成十一年「道成寺」
平成十三年「清経音取」
平成二十九年「卒塔婆小町」
令和元年「猿蓑」披露
令和二年「猿蓑」披露

※ 病気その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。
※ 許可なき撮影、録音はお断りいたします。
※ 上演の妨げになる携帯電話、アラーム付時計などの電機はお切りください。
※ 公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

宝生能楽堂

〒113-0033 東京都文京区本郷1-5-9

TEL:03-3811-4843 (午前10:00時~午後5:00 / 月曜定休)

● JR水道橋駅東口より徒歩3分

● 地下鉄都営三田線水道橋駅A1出口より徒歩1分

